

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

5

May 2019
Vol.288



【ときめき人】

菊地 栞さん

【特集】

あなたのママでー。

【今月の表紙】

白鳥水の里こども園入園式
(関連記事 11 ページから)



あなたのママでー。

近年、核家族や共働き世帯の増加など、子育てを取り巻く環境が大きく変化しています。本市に寄せられる子育ての悩みも十人十色。今回は、多様化した環境の中で、自分らしい子育てをする方法について考えます。



子育てを取り巻く環境の変化

子育てを取り巻く環境は、時代の流れとともに、大きく変化しています。昔と違い、おじいちゃん、おばあちゃん世代と離れて暮らす人や、子育てをしながら働く共働き世帯が増えていきます。

今はインターネットなどで、簡単にたくさんの情報を手に入れることができますが、一人一人違う、個性豊かな子どもたちに対する親の悩みはさまざまです。

ストレスの優先は…

結婚や仕事などで市内に転入してきた人や、普段あまり近所付き合いがない人などは、身近に頼れる人がいない場合があります。

どうしたらいいかわからないまま「親だからしっかりしないと」「子どもにいらしたら親として失格だ」と、無理にいい親を演じようと考え、ストレスを抱えたまま過ごしている人も多いのではないのでしょうか。

精神的に追い込まれた状態が続くことで、一番大切な子どもにもストレスが向いてしま

い、虐待につながったり、親自身がつらくなったりしてしまう可能性があります。

市で、地域で、みんなで取り組む子育てのかたち

現在、本市では18歳未満の子ども1万1107人が生活し、日々成長しています。その子どもたちと同じ数だけ子育ての悩みがあります。悩みをみんなで共有し、あなたらしい子育てのかたちを探す。

その答えのヒントになるよう、市で、地域で、みんなで、取り組んでいる子育てのかたちを紹介します。

市内の核家族世帯が増加

市内の核家族世帯数は、2005年の1万220件から15年には1808世帯増え、1万2028件と大きく増加。おじいちゃん、おばあちゃん世代と離れて子育てをしている人が増えています。

年間の相談件数は4千件超

人口は減少しているものの、核家族世帯数の増加とともに、児童相談所や保健福祉事務所、市の窓口寄せられている子どもの養育や虐待などに関する相談は、05年の2198件から15年には4022件と2倍近く増加。

年々増え続けている相談は「育児のことを身近な人に相談できない」「子どもとの接し方が分からず、戸惑っている」「子育てが不安でつらい」「子どもに手を上げてしまいそう」など、さまざまな内容が寄せられています。



新しい出会い、分かち合い

最初の子どもが生まれるということは、同時に新しい親の誕生でもあります。誰でも最初は分からないことばかりで不安な気持ちを抱えています。本市には、子育てを通じて、悩みを共感し合える同じ立場の人と、新たな出会いを作ることができる場所があります。



市内11カ所の交流の場

市内には、市営、民営合わせて、11カ所の子育て支援センターがあります。

子育て支援センターでは、未就学児とその親に、育児相談や遊び場を提供し、子育て家庭を支援。0歳から親子で楽しめる歌や手遊び、絵本の読み聞かせなどのイベントを開催しています。

普段は、広い場所で安心して子どもを遊ばせることができ、同じ子育て中の人同士で情報を共有できます。さまざま

まな悩みを、他の利用者や支援センター職員に相談することもできます。相談することで、子育ての悩みを持つているのが自分だけじゃないと気付くことができたり、互いに共感したりすることで、心ゆとりが持てるようになります。

雑誌、インターネット よりも身近な情報が

最近では、市内で生まれ育った人だけでなく、市外から転入してきた人の利用も増えて

います。引越してきたばかりで、近隣の状況が分からない人も、利用者同士が交流することで、インターネットよりも詳しく、地域のことを知ることが出来ます。

人付き合いがあまり得意ではない人でも、子どもが交流のクッションになり、なじみやすい環境で交流することができます。

開館時間内であれば、好きな時間に来館し、帰ることが可能。子どもの様子や家庭の

用事などに合わせ、自由に利用することが出来ます。

子ども同士の交流が 成長の刺激に

子育て支援センターには0歳から就学前までの子どもたちが毎日訪れています。子どもたちは、子ども同士で遊ぶことでたくさん刺激を受けます。おもちゃを取り合い、けんかすることもありますが、その中で、譲り合う気持ちを

学び、順番に遊ぶことを覚えます。周りの子がハイハイしたり、つかまり立ちするのを見て、自分もしてみたいと意欲的にまねし、成長する子もいます。

生活環境の変化などにより、子どもたちが外で遊ぶ機会が昔に比べ減少。交流の場が限られている中で、支援センターは、子どもたちの健全な育成のために、地域になく

新たな子育ての拠点が完成



佐沼小学校と迫児童館の隣接地に建設を進めていた新迫児童館が完成し、3月18日から利用を開始しました。従来の迫児童館は、老朽化に加え、建物が狭かったことから新たに建設。これまでは、旧迫川総合開発建設事務所など3カ所の施設で運営していた放課後児童クラブが、1カ所で利用できるようになり、利便性が向上しました。

迫児童館は中学生の息子が小学生の時から利用していますが、新しい児童館は広くて、とてもきれいですね。以前よりも受入人数が増え、午後6時30分まで子どもを預けられるので、共働きの私たちにとってはとても助かっています。先生たちが明るく元気で、小学3年の娘も、毎日児童館での様子を楽しく家に話してくれます。悩みなどの相談も聞いてくれるので、これからは安心して子どもを任せたいと思います。



佐々木 亜子さん(37)
迫町下舟丁

■つくってあそぼう(右)

季節の飾りやおもちゃなどを親子で一緒に作って楽しめます。

■おたんじょうかい(左)

誕生日を迎えた子を、みんなで祝い、楽しい思い出を作れます。



■ピアノとうたおう(右)

ピアノの先生と一緒に、季節の歌などを楽しく歌います。

■おはなしワクワク(左)

絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びなどを披露しています。



利用者interview

今野 菜美さん(29)
迫町中江

週に1~2回、迫児童館を利用しています。新しくなった建物は、とてもきれいで居心地がいいですね。アパートで暮らしているので、このような広いスペースで、子どもと遊べる場所があると思います。

石川 麗奈さん(31)
迫町品の浦

私の家の近所には同年代の子どもの少ないので、年の近い子と遊べる場所がいいですね。同じ男の子がいるお母さんたちと子育てについて共感し合うことで、自分だけではないんだと安心できています。



子育て支援講座

子育て中の人たちが集まり、みんなで体を動かしてリフレッシュ。参加者同士の新たな交流が生まれます。

日時	内容	場所・問い合わせ
5月14日(火) 午前10時~11時30分	子育てワンポイントレッスン、タッチケア&ママストレッチ	迫児童館 ☎0220(22)2524
5月28日(火) 午前10時~11時30分	ベビーマッサージなど	登米子育て支援センター ☎0220(52)3558

※講座は、毎月開催しています。6月以降の日時・場所は、市公式ホームページをご覧ください。か市民生活部健康推進課(地域保健係) ☎0220(58)2116まで問い合わせください。



ファミサポ協力会員
小林 秀子さん(62)
米山町八軒小路

ことをしたい」「子や孫が遠くにいて寂しい」「子どもが好き」など、協力会員になる理由はさまざまです。

協力会員の小林秀子さんは幼稚園で20年間勤務し、現在は、南方サポートセンターで支援員をしながら、ファミサポの協力会員として、子育てに奮闘しているお母さんたちを支えています。

「今でもこうして子どもたちに囲まれて仕事ができ、本当に幸せです」と小林さんは笑顔で話します。

「私が子育てをしていた頃は、ファミサポや子育て支援センターのようなものはありませんでした。私自身、仕事が休めない時に、ちょっと子どもを預かってもらえる場や頼める人がいると助かるなど

思っていました。今、子育て中のお母さんたちと接していると、市外から引越してきた人の多さに驚きます。そのお母さんたちは知らない土地で、頼める人がいない中で、子育てを頑張っています。通院などの短時間でも、助けが必要としている人の援助ができればと思い、協力会員になりました。ファミサポ以外にも、例えば近所の人が悩みを聞いてあげるだけで、子育て中の人の気持ちが楽になると思います」と地域で支え合う大切さを訴えます。

地域の愛があなたを支えます

大切な子どもを、知らない人に預けることに抵抗がある



支え合い、助け合い

ファミリー・サポート・センター事業は、子育てをしているお父さんお母さん、子ども、協力してくれる地域の皆さんが笑顔になれることを目指しています。

お互いの信頼関係のもとに、地域であなたの子育てを支えます。



ファミサポ協力会員の皆さん

地域で支え合う
「ファミサポ」

ファミリー・サポート・センター事業(以下、ファミサポ)では、育児の手助けが必要な「利用会員」と地域で育児の手助けができる「協力会員」がそれぞれ会員登録し、地域で子育てを支援。市内に「住んでいる」または「勤務している」生後2カ月から小学生までの子どもがいる人が利用できます。出産予定日の1カ月前から出産後3カ月の人も、家事などのサポートが受けられます。

ファミサポは「仕事ですぐに子どもを迎えに行けない」「行事やイベントに参加する用事がある」「たまには子どもを預けてリラクセスしたい」「妊娠しているので、家事を手伝ってほしい」など、さまざま理由で利用されています。

4月1日現在、協力会員が62人、利用会員は120人、両方に登録している会員8人が、子育てを支え合っています。

新たな生きがいにも

利用会員を支えるために、なくてはならない協力会員。「地域のために何か役に立つ

人もいると思います。ファミサポでは、利用会員と協力会員の交流会を定期的に開催し、信頼できる協力会員に預けることができます。

引越してきたばかりで、周りに頼れる人がいない人や共働きで頑張っている夫婦のために、ファミサポが地域の愛であなたを支えます。詳しい内容を知りたい場合など、まずは、市ファミリー・サポート・センター事務局(南方子育てサポートセンター内)まで気軽にご連絡ください。

☎0220(58)5558

●利用料金と報酬

区分	時間帯	1時間当たり	以降30分ごと
平日	午前7時～午後7時	600円	300円
土日、祝日	年末年始、上記以外の時間外	700円	350円

※おやつや食事、紙おむつ、送迎時のバス・タクシー代などは利用会員負担です
※2人目(兄弟・姉妹)からは、半額になります

協力会員講習会を開催

- 協力会員の条件
 - ▶市内に居住している心身共に健康な20歳以上の人
 - ▶自宅で安全にお子さんを預かることができる人
 - ▶登米市が主催する協力会員講習会を受講した人
- 協力会員講習会の日程
 - 【日時】6月3日(月)午前10時30分～午後3時15分(受け付け=午前10時15分～)
 - 【場所】南方子育てサポートセンター(研修室)
- 講習会の時間と内容

午前 10時30分～正午	子どもの事故、事故防止、応急処置に
午後 1時～1時15分	市ファミサポ事業の説明
午後 1時15分～2時15分	子どもとの関わり方(講話)、遊び方(実技)
午後 2時20分～3時	子どもの心と身体の発達について

【申込方法】電話
【申込期限】5月28日(火)
【受講料】無料
【申し込み・問い合わせ】市ファミリー・サポート・センター事務局(南方子育てサポートセンター内)
☎0220(58)5558

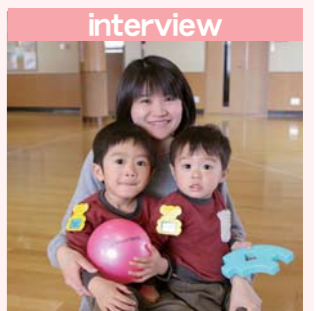


荒川 香澄さん(35)
南方町北本郷

私は、通院などの時によくファミサポを利用しています。最初は、知らない人に子どもを預けることに抵抗がありました。ですが、子育て支援センターで出会った支援員が協力会員と知り、利用するようになりました。

夫の転勤で八王子市から引越してきましたが、八王子市のファミサポは、協力会員を選ぶことができず、結局、一度も利用することなく登米市に来ましたが、こちらでは協力会員を選ぶことができるので、安心して任せられます。

普段はアパートで生活していますが、子どもたちは協力会員の広い家で遊ぶことを、毎回とても楽しみにしています。散歩に連れていってもらうたびに、いろいろな発見があるようで、楽しそうに話をしてくれます。今では親子とも安心してファミサポを利用しており、心の支えにもなっています。



遠藤 晶子さん(33)
南方町狼狽

私は神戸市出身ですが、結婚して登米市に転入し、今は4歳と2歳の息子がいます。自分に子どもができて初めて、身内が近くにいない環境で子育てすることの大変さや心細さを感じました。夜泣きで寝不足になりながらも、日中は子どもから目が離せず、男の子2人の活発さに疲れ果てていました。そんなとき、市の助産師さんにファミサポを勧めてもらい、登録しました。

現在は、近所の人たちにお世話になったり、月に1回の通院の際にファミサポを利用したりしています。子どもたちも帰ってくるたびに笑顔で、今日の出来事などを話してくれます。「もう迎えるにきたの」って言われることもあるくらい楽しい時間を過ごしているようです。

近所の人やファミサポのように、地域の人たちに支えてもらいながら、子どもたちが成長していることにとても感謝しています。

一人の「人」として

周囲の人は、親も一人の人間であることを理解し、みんなで子育てを支えることが大切です。自分らしい子育てのために、周囲の人は何ができるのか、すくすく保育研究所理事長の堀田菜菜江さんに話を聞きました。

一人の「人」として 笑顔で接し、応援し続けたい

今のお母さんたちは、計画的に子育てをしている人が多く、感心します。しっかりしている反面、自分が頑張らなくてはという気持ちから、笑顔が忘れていくように感じます。

私自身、登米市で3人の子どもを育てましたが、子育て中は周りに気を遣い謝ってばかりで、孤独を感じることが多くありました。赤ちゃんを連れていくだけで、周りからは楽しそうに思われる。意外と子育ての大変さを理解してくれる人が少ないことに気が付きました。お母さんは子育てをして当たり前。市民活動などに参加しても、どこか周りからは子育てだけをしていればいいのという雰囲気を感じました。その経験から、今はお母さんたちを「〇〇ちゃん

んママ」でなく、名前で呼んでいます。子育て中のお母さんは、ママ友ができるお互いに相談し、支え合える関係になることができませんが、グループに入ることが苦手な人も多くいます。私や、すくすくステーションのスタッフは、そんな人たちを孤独にしないことを一番に考えています。初めての利用者には積極的に話しかけ、出身地や趣味など他の利用者との共通点を見つけて、人と人をつなぐことを意識しています。

人は、笑顔を交わすこと、話すことで必ず気持ちが楽になります。周りの人たちは、それを理解し、とにかく話を聞いてあげてください。話すことで人とのつながりに安心することができます。



すくすく保育研究所理事長
堀田 菜菜江さん(54)＝中田町新田＝

子育てを支援する「すくすくステーション」や絵本を読みながら子どもとゆったりした時間を過ごせる「えほんカフェ おひさまの国」などを運営。子育て中のお母さんたちを、日々現場で支えています。



「えほんカフェ おひさまの国」では、約300冊の絵本と落ち着いた空間の中で、お母さんや子ども同士が気軽に交流できます。



すくすくステーションでは、スタッフが利用者一人一人に寄り添い、一人の人として、真剣に向き合っています。

子育て掲示板

一時保育

保護者がリフレッシュや就労、求職活動、通院などで、一時的に保育所などの施設を利用したいときにご利用ください。

【利用対象児童】市内に住所を有し、保育施設や幼稚園に通っていない1歳以上(利用開始日を基準とした満年齢)の未就学児が対象です。

【利用の手続き】①各総合支所市民課で申請してください。後日、申請内容を確認し、承認通知を発送します②承認後、保護者が利用を希望する保育所などへ連絡し、日程の相談や面談をします③利用当日、申込時間までに子どもを連れて申込施設へ来てください④利用した翌月に利用料の納付書を発送します。指定された金融機関で納付してください

☎福祉事務所子育て支援課(子ども保育係)
☎0220(58)5562

こんにちは赤ちゃんサロン

子育て、妊娠中の人同士で、出産や育児についてお話しできます。出産経験者や助産師、保育士などからさまざまな話が聞けます。

【対象】市内在住の妊婦さんから乳児期の保護者
【場所・日時】迫児童館＝5月31日(金)午前10時～11時30分(受け付け＝午前9時40分～)

【持ち物】親子手帳、筆記用具

【内容】「子どものおもちゃを作ってみよう！」

①気になること、自分の気持ちなどを語り合おう

②楽しく仲間、親子で過ごそう

③専門スタッフ(保育士・助産師)からのワンポイントアドバイス

☎市民生活部健康推進課(健康推進係)

☎0220(58)2116



誕生祝金の対象を拡大

これまで、第3子以降を対象に、誕生祝金10万円を市から支給していましたが、平成31年度からは、第1子に3万円、第2子に5万円、第3子以降に10万円を支給します。

なお、満1歳未満の乳児を対象に交付していた子育て用品券は、平成30年度をもって交付を終了します。

※交付済みの子育て用品券は、引き続き利用できます

☎福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)

☎0220(58)5562

相談窓口一覧

●子どもに関する悩み相談

窓口名	相談曜日・時間	電話番号
家庭児童相談室 (福祉事務所子育て支援課内)	平日午前8時30分～ 午後5時15分	0220(58)5562
県東部児童相談所	平日午前8時30分～ 午後5時15分	0225(95)1121
児童相談所全国共通ダイヤル	24時間対応	189
県東部保健福祉事務所 登米地域事務所 (母子・障害班)	平日午前8時30分～ 午後5時15分	0220(22)6118
キャブネット・みやぎ (子供虐待防止ネットワーク・ みやぎ)	月～土曜午前10時～ 午後1時(祝日を除く)	022(265)8866

※各総合支所市民課(健康づくり係)でも相談できます

●緊急の場合

夜間に子どもの急な発熱、怪我で、すぐに受診させた方が良いか迷った時はご連絡ください

窓口名	相談曜日・時間	電話番号
宮城県 こども夜間安心コール	午後7時～ 翌朝午前8時	プッシュ回線の固定 電話、携帯電話の場合「#8000」 プッシュ回線以外の 固定電話、PHSなど からは「022(212) 9390」

自分らしく あなたのママでー。

「子育て」という短い言葉の中には、たくさんのかたち、悩み、思いがあります。一人一人違う大人が、個性豊かな子どもたちを育てています。市内だけでも「子育て」のかたちは想像できないほどの数があるはず。悩みを解決する方法もさまざまありますが、自分らしさを意識してみることがその一つの方法ではないでしょうか。

今まで、20年、30年と生きてきた中で、本当に一人だけで生きてきた人はいないはず。つらかったり悲しかったりしたときは、周りに相談し、時には感情的になりながらも、周囲の支えがあつて、さまざまな場面を乗り越えてきたと思います。子育てだけが特別ではありません。今までたくさん壁を乗り越えてきた自分を思い出し、無理せず「あなたのままで」いることが解決の糸口になります。

支援センターなど、市内のいろいろな場所で、子育ての大変さを理解してくれる人や同じ立場の人たちの優しさが、悩みを抱えるあなたを待っています。

澤乃泉ファンが集結

日本酒イベントで蔵開き

「酒蔵見学会in澤乃泉」(石越醸造主催)は3月17日、チャチャワールドいしこしをメイン会場に開かれ、市内外から日本酒好き約千人が訪れました。

会場には澤乃泉の試飲、販売コーナーのほか、はっとななどの出店が並び、豪華景品が当たる抽選会も催され、にぎわいをみせました。酒蔵見学会に訪れた一杉昌玄さん(41)＝美里町＝は「機械生産ではなく、人の手によって昔ながらの製法で造られていることを知りました。いろんな日本酒を飲んできましたが、澤乃泉が一番おいしいと思っています。もっといろんな人に飲んでほしいですね」と話していました。



会場から酒蔵まではシャトルバスが運行。従業員の説明を聞きながら、普段見ることができない酒蔵の見学を楽しんでいました。

海外で民俗芸能披露

上町法印神楽が中欧公演

「祈りと祝い—東北に息づく神楽の伝統—」(国際交流基金主催)は、2月20日にハンガリーのブダペスト、23日にポーランドのワルシャワ、26日にグダンスクの各会場で開かれ、上町法印神楽(豊里町)が黒森神楽(岩手県宮古市)と共演し、勇壮な演舞を披露しました。

上町法印神楽は、同保存会の会員9人が出演。舞台に大乗飾りを施し、「道祖」と「日本武尊」を演じました。高橋啓一会長は「どの会場でも大きな拍手と歓声が上がリ、文化は違えど良き伝統は受け入れられることが分かりました。今後も若い人たちにしっかり継承していきたい」と初の海外公演に手応えを感じていました。



地域の伝統文化を、海外で初披露した上町法印神楽。和太鼓や笛の音色に合わせた華麗な舞で、会場全体が熱気に包まれました。

風土とフードを堪能

長沼恒例お祭りマラソン

6回目となる東北の春フェス「東北風土マラソン&フェスティバル2019」(同実行委員会主催)は3月23、24の両日、長沼フートピア公園を主会場に開かれ、ランナーや来場者が東北の風土とフードを満喫しました。

今年のテーマは「アミューズメントパーク」。来場者は、テーマパークやアニメのキャラクターなどさまざまな仮装を披露しました。ランナーは、コース内のエイドステーション(給水所)で「登米市産仙台黒毛和牛のサイコロステーキ」や「初恋さくら(甘酒)」、南三陸町産の「めかぶの味噌汁」など、東北の食を楽しみながら、まだ冬の寒さが残った長沼を駆け抜けました。



フル、ハーフなど9部門に、計5826人が参加し、さまざまな仮装で大会を盛り上げました。

住宅ローン金利優遇

住宅金融支援機構と協定

市と住宅金融支援機構の「【フラット35】子育て支援型・地域活性化型に係る相互協力に関する協定締結式」は3月12日、迫庁舎で開かれ、市と住宅金融支援機構(清水俊夫東北支店長)が協定を締結しました。

住宅金融支援機構は、子育て世帯の移住・定住の支援などで市に協力。市が実施する住まいサポート事業補助金と空き家改修事業補助金の対象者の住宅ローンを、一定の条件を満たすことで、当初5年間の借入金利を0.25%引き下げます。熊谷盛廣市長は「子育て世帯の住宅取得支援や本市への移住を促進することで、地域活性化につなげたい」と期待を込めました。



協定書を手にする熊谷市長(右)と清水支店長。清水支店長は「まちづくりを市と協力して進めていきたい」と語りました。

期待を膨らませ入園

白鳥水の里こども園開園

4月1日に開園した、白鳥水の里こども園(三塚久美子園長)の入園式は、4月6日に行われ、0から5歳の89人が入園しました。

同こども園は、幼保連携型の認定こども園で、保育が必要な子どもは0歳から入園が可能。3歳からは幼児教育と保育を受けることができます。入園式で三塚園長は「保育教育内容、環境、職員の質にこだわって役割を果たしていきたい」と話し、保護者を代表して挨拶した高橋英之さん(34)＝迫町光ヶ丘西＝は「いろいろなことを経験し、さらにたくましく成長してほしい」と願いを込めました。



入園した園児たちは、初めて顔を合わせた新しい友達と仲良く話し、名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。

経営力向上に向けて

補助金で事業者を後押し

「平成31年度補助金等活用セミナー」は3月13日、中田農村環境改善センターで開かれ、参加者28人が農業や商業に関する補助金などについて学びました。

セミナーは、市内の生産者や事業者らに補助事業などを情報提供し、支援策を活用しながら産業の育成や経営を後押しすることが目的。当日は、国や県、市それぞれの補助金や日本政策金融公庫の融資制度などについて、各担当者からの説明や個別相談会がありました。消費税増税に伴うキャッシュレス決済を使ったポイント還元制度など、新規事業についての解説もあり、参加者は熱心に聞き入っていました。



若者や女性の参加者も見られ、経営力向上に対する関心の高さがうかがえました。

Information 03

ゴールデンウィーク休業のお知らせ

—:休業 ○:通常業務

Table with columns: 業務・施設など, 27(土), 28(日), 29(月), 30(火), 1(水), 2(木), 3(金), 4(土), 5(日), 6(月), 備考, 問い合わせ, 連絡先. Lists various municipal services and their holiday schedules.



高森パークゴルフ場の整備に伴い、休園していた「チャチャワールドいしこし」が4月3日、リニューアルオープンしました。
■ゴールデンウィークのイベント
▼4月28日(日)／騎士竜戦隊リュウソウジャーショー▼29日(月・祝)／スター☆トゥインクルプリキュアショー▼5月3日(金・祝)／レジェンド仮面ライダーショー▼4日(土・祝)／仮面ライダージオウショー▼5日(日・祝)／騎士竜戦隊リュウソウジャーショー
【開催時間】1日2回／午前11時、午後2時(予定)
☎0228(34)2221



1 仙台学寮入口の様子。仙台学寮前には「登米市物産直売所」には、旬な野菜が並びます。直売所は引き続き営業中。2 寮母の末次三恵子さん。栄養バランスを考えた食事の提供など、最後まで温かいおもてなしで寮生を見送りました。
俊才育んだ仙台学寮が閉寮
市は、仙台市周辺の大学や専門学校などに進学する市内高卒者を育成するため、仙台市青葉区堤町に設置していた「仙台学寮」を3月31日に閉寮しました。
仙台学寮は1952年4月、登米高等学校を中心として、同高PTA会長など有志が開設。54年4月に登米町に移管され、81年7月に木造平屋建てから鉄筋コンクリート2階建てに改築しました。改築から30年以上が経過し、施設や設備の老朽化が激しいことや交通事情の変化などにより、近年は入寮者の定員割れが続いていました。
最後の寮生を見送った、施設管理や寮生の食事を調理してきた寮母の末次三恵子さん(68)は、寮生の皆さんは、とても優しい人ばかりでした。この場所ですぐに帰ることが大変感謝しています。今後は、登米市公共施設等総合管理計画などにより閉寮後の活用を検討していきます。

Information 01

市の組織が変わりました

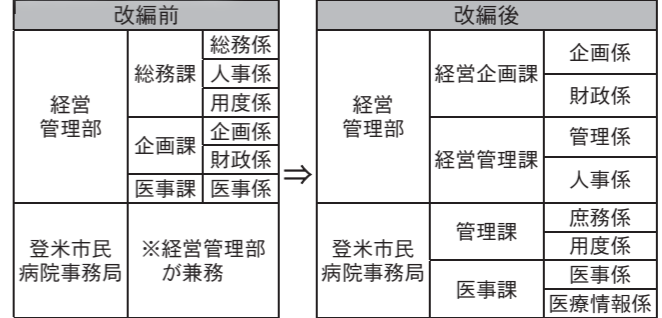
■新設
魅力ある教育環境づくりに向けた学校再編を具体化するため、教育部内に「学校再編推進室」を新設しました。

■増設
地域包括ケアシステム推進のため、従来の登米市民病院に加えて、米谷病院と豊里病院に「地域医療連携室」を設置しました。

■組織改編
病院事業を効率的に運営するため、医療局の組織を改編しました。(下図)

【問い合わせ】
総務部人事課(人事研修係)
☎0220(22)2145
医療局経営管理部経営管理課

【医療局の組織改編】



課(人事係)
☎0220(21)6888

法務大臣から人権擁護委員に委嘱

乾和子さん(迫町・再任)、大浪静江さん(米山町・再任)が4月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。

人権擁護委員は、人権に関する相談を受け、命の大切さや思いやりの心についての理解を深めてもらうための活動をしています。これは人権問題ではないかと感じたら、一人で悩まずにご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

【問い合わせ】
仙台法務局登米支局(総務係)
☎0220(52)2070

Information 02

自分らしく登米市で暮らす 移住・定住をサポート

市は、市民の皆さんがいつでも住み続けたい、移住を考えている皆さんには、定住の地として選んでもらえるよう支援しています。

■住まいサポート事業補助金
移住・定住するため、市内に住宅を新築または購入した人に、住宅取得費用の一部を助成します。建て替えや住み替えは対象外です。

【対象者】
世帯区分Ⅱ申請者および配偶者が40歳未満の世帯
世帯区分Ⅱ申請者または配偶者が40歳未満の世帯
世帯区分Ⅲ世帯区分Ⅰ、Ⅱに該当しない世帯

【補助金額】
▼転入
世帯区分Ⅰ／上限額80万円(中古の場合、40万円)
世帯区分Ⅱ／上限額60万円(中古の場合、30万円)
世帯区分Ⅲ／上限額40万円(中古の場合、20万円)
▼市内転居
世帯区分Ⅰ／上限額30万円(中古の場合、20万円)
▼加算額(市内業者が施工し

た場合)10万円、中学生以下の子どもがいる場合1人につき5万円)
【申請期間】住宅を取得してから6カ月以内
※平成31年3月31日以前に住宅を取得した人は、平成30年度の交付基準に3分の1を乗じた額を交付
※ひだまりタウンよねやまの宅地を購入し、住宅を新築した人は、平成30年度交付基準により交付

■空き家情報バンク事業
市内の賃貸、売却可能な空き家の情報を募集しています。提供された情報は、市の空き家情報バンクへ登録した後、空き家利用希望者へお伝えします。物件情報の提供および利用を希望する場合は、問い合わせください。
【注意事項】
▼登録物件は、必ず賃貸借、売買できる限りではありません
▼市は、登録された物件の紹介や連絡調整をしますが、賃貸借や売買に関する交渉、契約などの仲介はしません。仲介は、市内の提携不動産業者を紹介いたします

■空き家改修事業補助金
空き家情報バンクを活用して空き家を改修する人に、対象経費の2分の1(上限額50万円)を助成します。
■空き家財処分事業補助金
空き家情報バンクに登録された空き家内にある家財を処分する人に、対象経費の2分の1(上限額10万円)を助成します。
■共通事項
補助金の申請額の総額が予算額に達した場合は、受け付けを終了します。
■移住・定住サポートセンター
登米市迫町佐沼字大綱390-15(アルテラスおおみ内)
移住・定住希望者の相談を受け付け、情報提供や支援をしています。
☎0220(23)8711
【問い合わせ】企画部企画政策課(移住・定住促進係)／移住・定住相談専用ダイヤル
☎0220(23)7331
※移住・定住支援の詳細は、市公式ホームページに掲載

あなたの力を登米市で

市医療局職員を募集

Information 05

職種	採用予定人員	受験資格
看護師	15人程度	【免許保有者】昭和45年4月2日以降生まれの人 【免許取得見込者】昭和55年4月2日以降に生まれ、平成32年3月31日までに卒業・免許取得見込みの人(※長期勤続によるキャリア形成の観点から応募資格に年齢制限を設けています)

※採用予定人員は、変更することがあります。採用は、平成32年4月1日(免許・資格取得見込みの人は5月1日)の予定です

回数	試験日	受験申込受付期間	合格発表	試験項目	備考
第1回	5月26日(日)	4月17日(水)～ 5月16日(木)	6月7日(金)	小論文試験(1時間) 面接試験 健康診断 資格調査	郵送での申し込みは、受付期間中の消印のものに限ります
第2回	8月4日(日)	6月25日(火)～ 7月25日(木)	8月16日(金)		
第3回	10月13日(日)	9月3日(火)～ 10月3日(木)	10月25日(金)		

【試験会場】登米市民病院・地域医療連携センター(多目的ホール)

【受験申込書の配布】申込書は、医療局経営管理部経営管理課で配布します(午前8時30分～午後5時15分[平日])。郵便で請求する場合は、封筒の表に「看護師」「採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を記入した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください

※申込書は、医療局ホームページからダウンロードできます

【合格者の発表】市公式ホームページに受験番号を掲示し、受験者全員に結果を郵送で通知します

【合格から採用までの手続き】合格者は任用候補者名簿に登録し、登録者の中から採用者を決定します。合格者全員が採用されるとは限りませんのでご注意ください

【申し込み・問い合わせ】
医療局経営管理部
経営管理課(人事係)
〒987-0511登米市迫町
佐沼字下田中25番地
(登米市民病院内)
☎0220(21)6888

Information 07

市内事業者の ビジネスチャンスを支援

産業支援事業

実施することで売上高が増える見込みがある事業に対し支援します。

【対象者】市内事業者

【想定される取り組み】ホームページ作成、商談会への出席、店舗改修など

【補助対象経費】設備費、委託費、旅費、謝金、借り上げ料など

【補助率】補助対象経費の2分の1

【申請期間】通年
※予算がなくなり次第受け付け終了

創業支援事業

市内で新たなビジネスや雇用を創出するため、創業時に必要な資金の一部を支援します。

【対象者】市内で平成32年3月までに新たな事業を開始する人
※すでに個人事業主で、新たな事業を開始する場合やフランチャイズチェーン店のオーナーなど、本社からの指示により事業を実施する場合は対象になりません

【対象経費】支援対象期間(交付決定後)平成32年3月16

日)の従業員の人件費、店舗などの借り上げ料、設備費、仕入れ・材料費、委託費、旅費など

【補助率】補助対象経費の4分の3(上限225万円)

【支援対象の選考方法】ビジネスプランを提出いただき、審査会で選考。地域経済への波及効果、雇用創出効果の高いものを支援します

【支援件数】2件程度

【公募期限】5月31日(金)

技術習得支援事業

新たな事業へ踏み出す際や新たな技術を取得するための実践研修(海外研修を含む)を支援します。

【対象者】市内で平成32年3月までに新たな事業を開始する、または、新たな分野へ事業を展開する人

【補助対象経費】支援対象期間(交付決定後)平成32年3月31日)の研修参加負担金、各種申請費用、旅費、研修活動費、保険料など

【補助率】補助対象経費の4分の3(上限225万円)

【支援対象の選考方法】ビジネスプランを提出いただき、審査

査会で選考。研修内容、地域経済への波及効果の高いものを支援します

【支援件数】1件程度

【公募期限】5月31日(金)

産学官連携研究開発等支援事業

市内事業者と大学などの学術機関が連携した先進的、実驗的な製品・技術開発を支援します。

【対象者】市内の農業者、中小企業、小規模事業者など

【補助対象経費】市内事業者が大学などの学術機関と連携した先進的な製品、技術開発にかかる設備費、材料費、旅費、謝金、借り上げ料、分析経費など

【想定される取り組み】下請け製造、仕入れ販売専門事業者のオリジナル製品開発や研究開発など、活動領域を拡大させる開発など

【補助率】補助対象経費の3分の2(上限300万円)

【支援件数】1件程度

【公募期限】5月31日(金)

【申し込み・問い合わせ】産業経済部産業連携推進課(産業連携係)

☎0220(34)2549
✉sangyorenkei@city.tome.miyagijp

※事業の詳細は、市公式ホームページに掲載しています

Information 06

あなたのCM作品を テレビで放映

東日本放送の主催で開催されている「みやぎふるさとCM大賞」。今年も広く市民の皆さんからの作品を募集しています。多数のご応募をお待ちしています。

【募集点数】1点
※応募多数の場合は、応募内容により選考します

【作品の内容】観光、物産、伝統、人物、歴史、自然など、登米市の自慢や魅力を表現した未発表の作品

【作品タイトル】25文字以内

【作品秒数】30秒

【作品企画】ビデオテープ(HDCAM・HDV)またはビデオデータ(AVI・MPEG2・MOVなど)

【応募資格】市内に在住または勤務する人や団体で、映像制作を職業としていない人ならどなたでも応募できます

【著作権】応募作品の著作権は市に帰属します

【応募方法】6月28日(金)までに①氏名団体の場合は団体名と代表者氏名②住所③電話番号④職業または学校(学年)⑤作品タイトル(仮称可)

⑥作品の大きな内容を任意の様式に記入の上、直接または電子メールでご連絡ください

【応募期限】作品は、9月13日(金)までに総務部市長公室広報広聴係へ提出してください

【制作費など】制作、編集・加工の費用は、全て応募者負担となります

【申し込み・問い合わせ】
総務部市長公室(広報広聴係)
☎0220(22)2090
✉kohoh@city.tome.miyagijp



おめでとうございます
祝100歳

いつまでもお元気で



鈴木 あいふさん
(米山町 新町)
大正8年3月26日生まれ

南方町松葉で8人きょうだいの末っ子として誕生した、あいふさん。20歳で結婚し、7人の子に恵まれました。
「家に帰ればおばあさんがいるというだけで安心します。若い頃に戦争などで苦労した分、毎日を楽しみながら長生きしてほしい」と孫の寿幸さん。あいふさんは「長生きできているのは、やりたいことをやらせてくれた家族のおかげ」と、周囲の支えに感謝していました。



佐野 ちよ子さん
(南方町 板倉)
大正8年3月28日生まれ

ちよ子さんは、19歳で源三郎さんと結婚し、農業と和裁しながら4人の子を育て上げました。手芸が得意で、本を見て作り方を勉強した「箸置き」は、いろんな人たちに贈っては喜ばれています。
長寿の秘訣は「娘たちからの気合い入れ」と笑うちよ子さんに、ひ孫の菜里さんと朱里さんも世界一の長寿を目標に、健康で200歳まで長生きしていると気合いを入れていました。



田代 輝子さん
(南方町 吾野谷地上)
大正8年3月30日生まれ

輝子さんは、海軍に入隊していた正典さんが南方町に帰省した時にお見合いし、22歳で米山町板倉から嫁いできました。新生活を送った横須賀で、軍艦を案内してもらったことは一番の思い出と振り返ります。正典さんが出航すると南方に戻り、農業に励みながら、4人の子を育てました。
長寿の秘訣は、自分の歯でなんでも食べること。家族は「元気でもっともっと長生きしてほしい」と話していました。



5月の献血日程



4日(土・祝)
▶イオンタウン佐沼
10:00 ~ 11:45
13:00 ~ 16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話

誰にも言えない気持ち
聞かせてください。

☎022(718)4343

いろいろなことに、悩み、苦しんでいる人の「こころの声」を聴きます。

子ども夜間安心コール

●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)

●相談時間
毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎0229(24)2267

【ホットとサロンとめ】のお知らせ
●お茶会
がん患者、その家族などが集まり、お茶や会話を楽しみながら、生活の工夫などを語り合える場を開いています。
【会場】迫にぎわいセンター
【開催日】5月13日(月)、6月10日(月)、7月8日(月)、8月19日(月)、9月9日(月)、10月21日(月)、11月11日(月)、12月14日(土)、平成32年1月20日(月)、2月10日(月)、3月9日(月)
【時間】午後1時30分～3時
※時間内の入退室は自由
【参加費】100円(お茶代)
●ウィッグ提供のお願い
がん治療中の脱毛などの悩みを抱えている人に、ウィッグを無料で貸し出し(最長6カ月)していますが、ウィッグの数量が不足しています。ご家庭に眠っているウィッグがありましたら、ぜひお譲りください。

【問い合わせ】ホットとサロンとめ(代表||鈴木)
☎070(2011)0928
午前9時～午後4時
●オレンジカフェで癒しのひとときを
オレンジカフェは、認知症の患者やその家族、地域の人などが集まり、情報交換したり、おしゃべりを楽しんだりする場です。音楽の生演奏を聴き、お茶を飲みながら、誰でも相談や専門家のアドバイスを受けられます。
【日時】5月18日(土)午後1時30分～3時30分
【場所】津山公民館
【参加費】500円
【定員】30人
【申し込み・問い合わせ】

千葉雅弘氏が病院事業管理者に就任

平成31年4月1日付けで新しい病院事業管理者に千葉雅弘氏(61)が就任しました。
【千葉氏略歴】
昭和32年、中田町生まれ。51年4月、中田町役場入職。平成26年4月、市建設部長、28年4月、産業経済部長、29年4月、総務部長、30年4月、市医療局参与を歴任。



▼NAOMUSICOFFICE(担当||山本)
☎090(7329)4277
▼迫地域包括支援センター(担当||横澤)
☎0220(22)1152

5月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当・予約先
8	豊里公民館 13:30~15:30 カウンセラー ☎0225(76)4113(豊里総合支所)
14	米山総合支所 10:00~14:00 カウンセラー ☎0220(55)2112(米山総合支所)
24	中田保健福祉会館 13:30~15:30 医師 ☎0220(34)2311(中田総合支所)
28	迫保健センター 13:30~15:30 医師 ☎0220(22)5554(迫総合支所)

精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土、日、祝日を除く)まで、各予約先まで申し込みください。

登米市民病院小児科日曜日救急診療
●診療時間 9:00~17:00(受付16:30まで)
【問い合わせ】登米市民病院 ☎0220(22)5511

5月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
1(祝)	二瓶内科胃腸科医院(迫町) ☎0220(22)6508	かがの歯科医院(中田町) ☎0220(35)2552
2(祝)	佐藤内科医院(迫町) ☎0220(22)2160	浅野歯科医院(南方町) ☎0220(29)6036
3(金)	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	中田歯科診療所(中田町) ☎0220(34)4148
4(土)	おたおたにクリニック(中田町) ☎0220(35)1161	中田歯科診療所(中田町) ☎0220(34)4148
5(日)	米谷病院(東和町) ☎0220(42)2007	おおさか歯科医院(中田町) ☎0220(34)6668
6(月)	しのはらクリニック(米山町) ☎0220(23)7387	東和歯科医院(東和町) ☎0220(53)3811
12(日)	上杉皮膚科医院(迫町) ☎0220(21)1380	みなみかた歯科医院(南方町) ☎0220(29)7020
19(日)	八嶋中央診療所(石越町) ☎0228(34)2013	かさま第2歯科医院(石越町) ☎0228(34)3887
26(日)	新田診療所(迫町) ☎0220(28)3398	なかつやま歯科医院(米山町) ☎0220(55)2755

●診療時間 9:00~17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月～金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

登米市の財政状況

②市の収入

～市民の皆さんと市の現状を共有し、より良いまちづくりを目指すため財政状況をシリーズで紹介します～

収入の73%は依存財源 (平成31年度一般会計予算)

市の収入470億円のうち、市税や基金からの繰入金などの自主財源(※1)は27.2%、地方交付税や国・県支出金などの依存財源(※2)は72.8%です。

国から交付される地方交付税は収入全体の約4割を占め、国への依存度が高い状態です。



- ①市税【77億円(16.4%)】=市民の皆さんや会社などから納められる税金
- ②使用料および手数料など【21億円(4.4%)】=施設の使用料や行政サービスの手数料など
- ③繰入金【30億円(6.4%)】=積み立てた基金(貯金)を取り崩すお金
- ④地方譲与税・各種交付金【24億円(5.1%)】=国などから譲与・交付されるお金
- ⑤地方交付税【179億円(38.1%)】=一定の行政サービスができるように、国から交付されるお金
- ⑥国・県支出金【81億円(17.2%)】=市の事業に対して、国や県から交付されるお金
- ⑦市債【58億円(12.4%)】=施設整備などのために借入のお金

(※1)自主財源=市税、使用料および手数料や基金からの繰入金など、市が独自に集められるお金。家計に例えると、給料、農業収入、不動産の売却収入や貯金の取り崩しなど
(※2)依存財源=地方交付税や国・県支出金など国や県から交付されるお金や市債。家計に例えると、地方交付税や国・県支出金は親からの援助、市債は金融機関からの借入れ

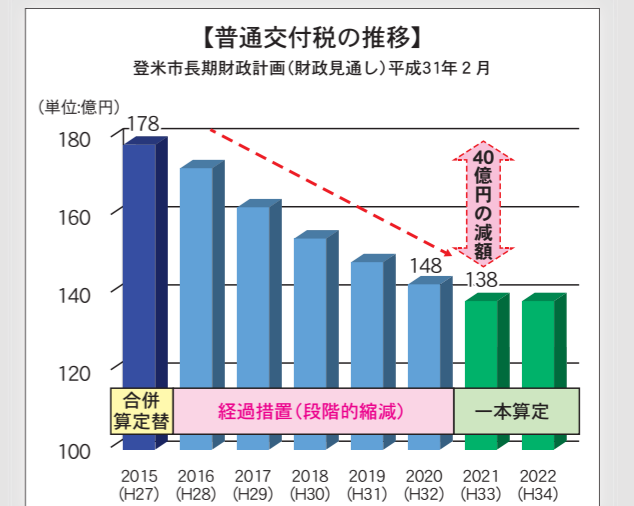
「合併算定替」終了により、普通交付税は40億円減額します

地方交付税は、一定の算式で交付される「普通交付税」と、災害など特別の財政事情に応じて交付される「特別交付税」、東日本大震災による財政事情に応じて交付される「震災復興特別交付税」の3種類あります。地方交付税の大部分は普通交付税であり、本市に交付される地方交付税のうち、普通交付税は83.8%を占めています。

市は、普通交付税について「合併算定替」の特例の適用を受けています。この特例は、合併により交付額が減少することのないよう、合併した年度とこれに続く10年間は、合併がなかったものとして旧町ごとに算定した普通交付税額が交付されるものです。

平成17年度から27年度までは、毎年170億から180億円前後が普通交付税として交付されてきました。平成28年度から5年間は、激変緩和期間として段階的に縮減され、平成33年度には、平成27年度対比で約40億円の大幅な減

額になると見込まれます。今後は、支出の削減など抜本的な行財政改革に取り組む必要があります。



【問い合わせ】企画部財政課(財政一係)
☎0220(22)2159



豊里

運動不足解消して男と体磨く

「男磨き・からだ磨きのためのちょっとやろう会(運動教室)」は3月23日、豊里公民館で開かれ、消防団豊里支団の団員33人が参加しました。
運動教室は、健康運動指導士の薄井愛氏を講師に招き、働き盛り世代の男性の生活習慣改善を目的に開催。参加者は「体力測定で自分の体力を知ることができ、運動不足を感じた。もう少し運動を増やしたい」と健康への意識を新たにしていました。

再会喜び思い出話に花が咲く

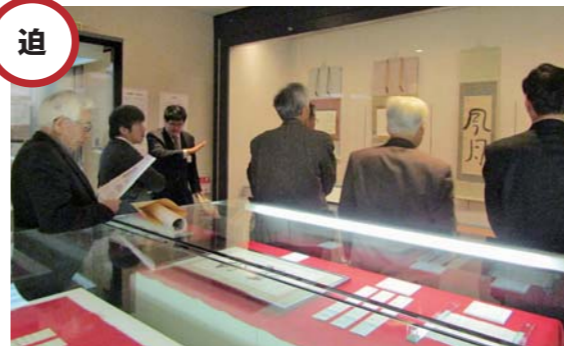
「第36回東京米山会総会」は3月17日、東京都江東区のホテル「アンフェリシオン」で開かれ、米山町出身者など約60人が再会を喜びました。
総会後には懇親会が開かれ、懐かしの面々と思い出話に花を咲かせました。出身地区対抗の歌合戦、歌謡ショーやお楽しみ抽選会が催され、道の駅米山の物産販売では、油麩などの古里の味を買い求めていました。最後には参加者全員で「米山の人」を合唱し、会場は大いに盛り上がりました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

武家の教養から歴史文化学ぶ

企画展「伊達綱村没後300年記念お殿様の教養～仙台藩の武家文化～」のオープニングセレモニーが3月16日、歴史博物館で開かれました。
仙台藩4代藩主の綱村は、異母弟が登米伊達家の養子になるなど、登米地方に関わりの深い人物です。企画展では、綱村をはじめ、伊達家お殿様の教養に関する資料を展示。来場者は説明を聞きながら鑑賞し、伊達家の武家文化に関心を寄せていました。企画展は5月19日まで開かれています。



石越

フットサル通じて世代間交流

「第24回フットサル石越大会」(石越地区体育協会主催、石越町サッカー協会主管)は3月24日、石越体育センターで開かれ、約80人が参加し、親睦を深めました。
今年で24回目を迎えた本大会は、フットサルの普及と競技力の向上が目的。市内外から多くのサッカー愛好家が参加し、中学生から大人まで、幅広い年齢層の選手たちが技を競い合いました。参加者は、白熱した試合を繰り広げ、心地よい汗を流しました。

滑って転んでスケートを満喫

「蔵っこキッズイベントスケートinベルサンピア」(とよまスポーツクラブ蔵っこ主催、早坂彰則理事長)は3月2日、ベルサンピアみやぎ泉(大和町)で開かれ、小学生16人がスケートを体験しました。
参加した子どもたちの多くはスケート未経験者でしたが、インストラクターから約3時間の指導を受けて、すぐに上達。普段触れることのできない氷のリンクで、転びながらもスケートを存分に楽しんでいました。



登米

地域住民の文化芸術作品展示

「2019にしごう企画展」(西郷地区コミュニティ推進協議会主催、近藤健悦会長)は3月16、17の両日、西郷公民館で開かれ、141人が来場しました。
企画展では、西郷小学校の児童が描いた絵、地域住民が制作した作品や写真などを展示。イベント企画では、子ども向けの謎解きゲーム、アイシングクッキー作り、フラワーアレンジメントのほか、手打ちそばの実演も催され、参加者は打ちたてのそばに舌鼓を打っていました。



南方



東和

200以上の作品が来場者魅了

「第14回米谷ふるさと文化祭」(米谷地域づくり推進協議会、米谷公民館主催)が3月2、3の両日、米谷公民館で開かれ、350人を超える来場者でにぎわいました。
手芸、陶芸、書道、写真、絵画、工芸品など、200点以上の作品が来場者を魅了したほか、会場には駄菓子屋コーナーが設けられ、コーヒーも無料で振る舞われました。ステージ発表では、小学生によるダンスや歌などが披露され、大いに盛り上がりました。



津山

「いかのおすし」で防犯対策を

津山地区防犯指導隊(遠藤一太郎隊長)と登米警察署員による「防犯教室」は3月20日、つやま幼稚園で開かれ、園児たちが防犯について学びました。
防犯教室は、手作りした防犯標語の紙芝居「いかのおすし」を使いながら、防犯の必要性について分かりやすく説明。紙芝居には、登米署防犯キャラクターのトメルンダーが登場し、園児たちはトメルンダーと約束した「『いかのおすし』を守ります」と真剣な表情で防犯を誓いました。

堤防をきれいに維持して守る

「夏川堤防敷一斉清掃」(中田地区北上川水系夏川河川愛護会主催、熊谷憲雄会長)は3月10日、夏川堤防敷で実施され、同会の会員約300人が環境美化に取り組みました。
毎年春と夏の年2回実施されている同清掃活動は、環境美化と河川への愛護意識を高めることが目的。当日は強い風が吹き、枯れ草の焼却はできませんでしたが、参加者は、きれいな堤防敷を維持するために、ごみの撤去や草刈りなどの作業に励んでいました。



中田

3月13日までの3歳児健診でむし歯のなかった子どもたち



むし歯がなかった子は、市内9地区で59人中49人でした

一般向け

子ども向け

PICKUP_04 「免疫力アップの健康みそ汁」



石原 新菜/監修、岩崎 啓子/料理
免疫力アップや老化予防などの効果が期待される「みそ」。「体調別健康みそ汁」「糖質オフのおかずみそ汁」など、飽きずに食事に取り入れられるレシピ本です。

PICKUP_05 1時間でよくわかる「農家のための相続講座」



床爪 晋/著
相続をする際は、家族間での「争族」の可能性が、争族のパターンを知り、防ぎ方を学べます。約40年ぶりに改正された相続分野の民法のポイント解説つき。

PICKUP_06 「介錯人」



辻堂 魁/著
不浄な「首斬人」とさげすまれる職業を継いだ、別所龍玄。凄惨な仕事の中で、凜として命と向き合う、すご腕介錯人の清らかな生きざまが描かれています。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

「こどもの読書週間」スペシャルイベントを開催

登米図書館は、読書推進運動協議会が定める「こどもの読書週間」に合わせて、スペシャルイベントを開催します。子どもだけでなく大人も楽しめますので、この機会にぜひ図書館へお越しください。

【開催期間】4月23日(火)～5月12日(日)

※対象図書が無くなり次第終了

【時間】午前9時～午後5時

【場所】登米図書館

【問い合わせ】登米図書館

☎0220(52)5330

PICKUP_01 「チェンジ・ザ・ワールド!」
世界を変えた14人の女性たち



スーザン・フード/文
さまざまな壁を打ち破り、才能を伸ばし、権利を追求してきた人々の活躍によって、世界はより良い場所になってきました。偉業をなした女性たちが送るエール。

PICKUP_02 「ルイ・ブライユ」



岡田 好恵/文、坂本 コウ/絵、金子 昭/監修
「点字」が発明されたのは、今から200年ほど前のフランス。3歳で視力を失ったルイ・ブライユが、どのようにして点字を発明したかを学べる一冊。

PICKUP_03 「サンドイッチ ギューっ」



ひがし ちから/作
ゆき先生に「ぎゅーっして」と言えないはるくん。すると、先生がサンドイッチになる遊びを始めました。ごっこ遊びで抱きしめられる幸福感を描いた絵本です。

【スペシャルイベントの内容】

イベント名	対象	内容
お楽しみ袋	幼児～小学生	絵本や児童書を5冊セットで貸し出します。中身は、開けてみてのお楽しみ。
手作りしおりプレゼント	幼児～小学生	図書館利用者に、手作りのしおりをプレゼント。
みんなに教えて	幼児～小学生	お気に入りやお勧めの本をカードに書いて教えてください。カードを特設コーナーに掲示して、紹介します。
みんなにお勧め	市民一般	子ども大人も楽しめる登米図書館お勧めの本を展示します。テーマは「映画化された本」。

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)

※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください

■問い合わせ 追 図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書室 ☎0220(34)8081

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

猪俣 裕人君

いのまた・ひろと 宝江小5年
中田町・並柳

ラーメンでみんなを笑顔に

ぼくの将来の夢は、ラーメン職人になって、いつかラーメン店を開くことです。

ぼくは、家族に喜んでもらえるのがうれしくて、休日などによく料理をしています。初めて料理をしたのが1年生の時、お母さんに教えてもらいながら、そうめんをゆでました。とても楽しくて、今でもはっきり覚えています。

料理の中でも、ラーメン作りはとても難しいです。何度か挑戦していますが、ちょうど良い硬さの麺になる火加減や時間の調整がとても難しいです。まずは、家族に「おいしい」と言ってもらえるラーメンを目指し、大人になったら、しっかり修行を積んで腕を磨き、もっともっとおいしいラーメンを作りたいです。

そして、家族だけでなく、たくさんの人たちにぼくのラーメンを食べてもらって、食べた人みんなを笑顔にしたいです。そんなラーメン職人になることがぼくの夢です。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

佐藤 優菜さん(21)

さとう・ゆうま
南方町・原

★身長と血液型 163cmでO型です。

★現在は トヨタテツ東北で、小型ハイブリット車「アクア」のボンネットやドアの部品製造を担当しています。日勤と夜勤があるので、最初の頃は体調を崩すこともありましたが、今はなくなりましたが、休むと製造ラインに影響が出るので、体調管理には気を付けています。これからは、新人に教えることも増えると思うので、分かりやすく教えられるようになりたいです。

★自分の性格 あまり感情的になることがないので、穏やかな性格だと思います。

★趣味は ジュニアリーダーを支援するボランティアサークル「びいす☆かんぱにい」に所属し、ジュニアリーダーの育成や活動の手伝いをしています。小学生のときから、年下の子と遊ぶことが多くて、面倒を見るのが好きでした。今でも子どもたちと一緒に遊んだりするのが楽しいですね。

★休日は ボランティア活動がないときは、友達と仙台や古川などに出掛けることが多いです。

★今やってみたいことは 新しいことを始めるというよりも、今のボランティア活動に力を入れていきたいです。

★理想の女性像 あまり考えたことはありませんが、ボランティア活動を理解してくれる人がいいですね。

★登米市について一言 最近は外で遊ぶ子どもたちが少なくなったので、遊具がたくさんある公園があるといいですね。子どもを対象にしたイベントがもっと増えるといいと思います。



Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



須藤 秋華ちゃん(11カ月)

2018年5月12日生まれ
迫町・大網南 千晶さんの長女
いつもにこにこ笑顔でおしゃべり上手。これからの成長が楽しみです。



三浦 愛佳ちゃん(10カ月、左)

2018年6月12日生まれ
迫町・八幡 悟さんの長女
お兄ちゃんが愛してやまないかわい
い妹。家族の癒やしです。



大村 陽乃ちゃん(1歳)

2017年6月2日生まれ
南方町・北本郷 達也さんの長女
毎日お外で遊ぶことや食べることが大好きです。元気にすくすく大きくなっ
てね。

～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦
コメント(50字以内)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=2121dolMyHome>

電子申請 QR コード





五嶋 庄市さん(72)
まさ彦さん(72)
中田町・森六荒谷
1969(昭和44)年12月入籍

これからも大好きな旅行に行きたい

★二人のなれ初めは
【庄市】知り合いの家がパーマ屋さんだったんだけど、そこでお母さんが働いてだから話するようになったの。
★第一印象は
【庄市】仕事をしている姿を見ていいなと思ったよ。
【まさ彦】誠実そうな人だと思っただよ。
★結婚当時の思い出は
【庄市】どこに行くが決めないで旅行することが多かったね。
【まさ彦】お父さんが自営業で、結婚してから事務を手伝ったんだけど、何にも分がなかったから苦労したの。
★お互いの性格は
【庄市】昔はおどろきがあったけど、今はきかねんだ(笑)。
【まさ彦】短気だが、すぐ言い合いになるの。
★夫婦円満のコツは
【まさ彦】言いたいことを言っ、て、すぐ忘れることかな。けんかして嫌なときもあるけど、お父さんが忘れるがらそれで終わりにするの。
★これからしたいことは
【庄市】旅行が好きだが、これからも行きたいね。今度、孫を連れて東京デイズニールランドに行ってみたいね。
【まさ彦】沖縄に行きたいの。ないから行ってみたいの。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ふるさとのために」

私は1964(昭和39)年度に豊里中学校を卒業し「金の卵」と言われながら、バスで豊里を出発し、夜行列車に乗って、朝方に上野13番線ホームに到着しました。今でもバス停の陰から見送ってくれた両親の顔が忘れられません。
私のふるさと、豊里町浦軒は、私にとつて暗いイメージがありました。今では、道路がきれいに舗装されましたが、当時は雨が降るとぬかるみができ、まちの子どもたちからは「びっきの子」と言われていたことを思い出します。
私は東京に来て、はや55年になります。上京した当時は、方言の壁もあり、人とのコミュニケーションが苦手でした。田舎に帰りたくなくなり、何度

遠藤穂雄さん(70)

在京豊里会事務局員
豊里町(浦軒)出身



上野駅に行ったことが分かりません。そんな私の姿に見かねた姉が、習い事の先生を紹介してくれました。まずは唄を習い、その後すぐに踊りも始めました。習い事を始めてからは、苦手だった対人関係も多少苦ではなくなったので、田舎に帰らずに済みました。
そんなとき、浦軒の婦人会の皆さんから、踊りの指導をしてほしいという話が来ました。ちようど何か役に立ちたいという思いがあったので、指導してもらった師匠の許しをもらい、浦軒の実家を稽古場として、市川九女洋の名取名で教室を開くことにしました。
40年余りふるさとに関わることで幸せです。
いつでもすぐに帰れるようにという訳ではありませんが、上野に所帯を持ちました。嫌だ嫌だと思いつつも、ふるさとを離れて55年。びっきの子も今では古希を迎え初老です。私の生まれたふるさととは豊里町浦軒ですが、ふるさとには申し訳ないと思いつつも、東京がふるさとになりつつあるのかもしれないですね。

おらほの産直

長沼フートピア公園
「ふるさと物産館」



ふるさと物産館がある長沼フートピア公園では、年間を通してさまざまなイベントが催され、多くの来場者でにぎわっています。



缶バッチ200円、コインケース型キーホルダー1000円、うちわ100円で販売

今月は、長沼ふるさと物産の佐藤純さんにお話を伺いました。
Q お勧め商品などを教えてください
ふるさと物産館では、地元北方地区で生産された野菜を中心に、農産加工品などを

販売しています。

また、2017年の9月に、風車を擬人化したキャラクター「ふーしゃん」が誕生しました。物産館では、ふーしゃんの缶バッチ、コインケース型キーホルダー、うちわを販売しています。
レストランでは、ソフトクリームに甘いあられをトッピングした「ふーしゃんソフト」を最近発売しました。見た目のかわいさもあって、子どもたちに人気の商品です。
Q これから開催されるイベントなどを教えてください
ゴールデンウィークには、



ふーしゃんソフトは400円(税込)で販売

子どもたちが楽しめるイベントを企画しています。また、5月の下旬には、フリーマーケット「長沼マルクト」を開催します。昨年初めて開催し、大盛況だったので、ぜひお越しください。
【問い合わせ】長沼フートピア公園
☎0220(22)7600

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集!
●6月号は短歌です。住所・氏名電話番号を記入し、4月26日(金)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳

AIは人手不足の救世主

俳句

つまづきし石を放れば犬ふぐり

せせらぎの一滴となる春の雪

看護師の心新たに卒業す

士気高き消防士の声日脚伸ぶ

待春や湯気たつ堆肥切り返へす

佐々木儀一 (石越)

千葉 泰子 (迫)

及川 澄子 (東和)

及川 豊子 (東和)

小野寺和彦 (東和)

及川 守男 (東和)

道普請町の復興春息吹

この道の果てはふるさと春の雪

春の雪ややんばは靴を履きたがる

朝まだきうつつすらとけて春の雪

震災で友を亡くした春の海

春雷に水底ゆらり池の鯉

四十年この地に暮し山笑ふ

虫出しの鳴り轟くや山の畑

酒井みつ子 (中田)

佐藤 昭 (中田)

高橋武比古 (中田)

山内 成子 (中田)

佐藤よしの (南方)

西條 榮孝 (津山)

須藤 桂子 (津山)

山田 直信 (津山)

情報場 広場 Information

催し

視聴覚センター 映画上映会

所蔵する映画作品の上映会を開催しています。5月は、幼児向けの映画を上映しますの
で、ぜひご来場ください。

【上映作品】おまへうまてうだな
【日時】5月19日(日)午後1時
30分上映開始

【場所】市視聴覚センター(第1研修室)

【入場料】無料(予約不要)

【問い合わせ】市視聴覚センター

生田目富紀夫石板画展を 高倉勝子美術館で開催

【開催期間】5月3日(金・祝)

【手当】選挙長等の費用弁償に関する条例に基づき支給

【人数】1投票所に2人ずつ

【選考】①募集人数を超えた場合は、市選挙管理委員会にて選考②選考結果は、応募者全員に文書で通知

【応募方法】所定の応募用紙に必要事項を記入し、居住地の総合支所市民課地域振興係に提出してください。応募用紙は、各総合支所と選挙管理委員会(迫庁舎3階)に備え付けています。また、市公式ホームページからダウンロードできます

【応募期限】5月10日(金)
【問い合わせ】市選挙管理委員会
☎0220(22)2198

市就職ガイダンス(説明会) 参加企業を募集

企業の概要説明など、就職希望者の就職活動を支援する企業を募集します。

【募集期限】5月13日(月)

住宅入居者を募集

東和定住促進住宅、豊里定住促進住宅、石越定住促進住宅は随時入居者を募集しています。入居希望者は住宅都市整備課まで問い合わせください

【申し込み・問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
☎0220(34)2316

**夜間納税相談窓口
(5月・6月分)**

【日時】5月30日(木)
6月27日(木)
いずれも午後8時まで

【場所】総務部収納対策課(迫庁舎1階)

【問い合わせ】総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

26日(日)午前9時～午後4時30分

【場所】高倉勝子美術館「桜小路」

【入館料】大人200円、高校生150円、小中学生100円

【問い合わせ】高倉勝子美術館「桜小路」

☎0220(52)2755

歴史博物館 春の講座・イベント情報

■春を感じるお茶会

古民家で庭園を眺めながら、ゆつたりとしたひとときを過ごしませんか。

【日時】5月3日(金・祝)午前10時～午後2時

【場所】旧互理邸

【参加費】400円(抹茶・和菓子代)

【事前申し込み】不要

※和菓子がなくなり次第終了

【開催日】6月28日(金)

【場所】登米総合体育館

【問い合わせ】産業経済部工業振興課(工業振興係)

☎0220(34)2706

※申し込みの詳細は、市公式ホームページをご覧ください

高校生絵画展IN登米市 2019作品を募集



昨年の大賞作品



【対象者】県内および岩手県一関市内の高校に在学、または市内在住の高校生

【応募規定】①1年以内に制作(模写などを除く)した油彩画、水彩画、日本画、版画など、壁面に展示可能なもので未発表の作品②キャンバスサイズは20×30号、パネルサイズはB2/A1判③作品は額装を基本。奥行きは6センチ以内(額縁含む)

【出品点数】1人1点(作品の共同制作は不可)

【応募期限】5月10日(金)

【応募方法】出品申込書に必要事項を記入の上、学校ごとに取りまとめ、郵送またはファクシミリで申し込みください

【展示場所】登米祝祭劇場(小ホール)

【展示期間】5月30日(木)～6月2日(日)午前9時30分～午後6時(2日は午後3時まで)

【入場料】無料

【表彰】▼大賞1点▼優秀賞2点▼優良賞4点程度▼佳作5点程度

【表彰式】6月2日(日)午後3時30分～/登米祝祭劇場(小ホール)

【申し込み問い合わせ】企画部市民協働課(地域振興係)
〒987-0511/登米市迫町佐沼字中江2-16-1
☎0220(22)2173
FAX0220(22)9164

歴史講座「伊達綱村と修史編さん事業」お殿様、歴史書をつくる

仙台藩四代藩主の伊達綱村は、資料調査や家臣たちが所蔵する資料の提出を命じて「伊達治家記録」など伊達家の歴史書を編さんしました。

佐沼互理家、中目家、登米伊達家を事例として綱村の歴史書編さん事業を振り返ります。

【日時】5月4日(土・祝)午後1時30分～3時

【場所】市歴史博物館(研修室)

【定員】20人

【参加費】無料

【事前申し込み】必要

■こどもの日記念「いのほりのカード立て」を作ろう

親子で簡単に作れる、こいのほりのカード立てと一緒に子どもセージカードと一緒に子どもや家族へプレゼントしてみませんか。

【日時】5月5日(日・祝)午後2時～3時

【場所】市歴史博物館(研修室)

【定員】10人

【参加費】500円(材料費)

【事前申し込み】必要

■史跡を巡ろう「佐沼てくてく歩き」

佐沼城と周辺の史跡を巡ります。歩きやすい服装でご参加ください。

【みどりの森を次世代へ植樹祭参加者を募集】

市と県は、「市民参加の新たな森林づくり」春の植樹祭の参加者を募集します。

植樹祭では、誕生記念・結婚記念日など、皆さんのそれぞれの記念を標柱にするし、植

【日時】5月6日(月・振替)午後1時30分～3時(少雨決行)

【集合場所】市歴史博物館

【コース】市歴史博物館～佐沼城本丸～御前巻～西館～旧互理邸～御陣場山～市歴史博物館

※小学生以下が参加する場合は、保護者もご同行ください

【定員】10人

【参加費】無料(飲み物などは各自ご用意ください)

【事前申し込み】必要

【問い合わせ】市歴史博物館
☎0220(21)5411

募集

選挙の投票立会人を募集します

7月執行予定の第25回参議院議員通常選挙の投票立会人を募集します。

なお、選挙期日が未定のため、決定後に応募者と日程調整します。

【仕事内容】有権者の代表として、公正に投票されているかを確認します

【対象者】①市の選挙人名簿に登録されている②特定候補者や政党などに直接関係がない③明るい選挙の推進に理解がある

【開催日時】5月26日(日)午前10時～午後1時(小雨決行)

【集合場所】道の駅津山もくもくランド「駐車場」

【集合時間】午前9時30分

【植林場所】津山町柳津字大土地内

※集合場所から植林会場まではバスで送迎します

【募集人員】▼市民参加の新たな森林づくり植樹祭に先着150人▼わたしの記念植樹に先着40人

【参加料】無料

【持参する物】軍手、長靴

【申込期限】5月17日(金)

【申込方法】電話、ファクシミリ、電子メール

※ファクシミリ、電子メールの場合は、参加者の住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください。記念植樹の申し込みは記念名(初孫誕生記念など)、標柱に入れる名前も記入の上、「記念植樹」と明記してください

【申し込み問い合わせ】産業経済部産業振興課(林業振興係)
☎0220(34)2716
FAX0220(34)2801
✉sangyosinko@city.tome.niigata.jp

樹する「わたしの記念植樹」も併せて実施します。ぜひご参加ください。

DAIYU HOME CENTER ダイユーエイト 登米中田店

毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日

税込3,240円以上お買上げで

ポイント5倍

野菜苗・季節の花苗入荷しました

ダイユーエイト登米中田店案内図 広告

ウジエスパーさん ●マツモトキヨシさん ●薬王堂さん ●JAみやざさん ●中田総合体育館 ●登米市立登米小学校 ●コープデンキさん ●コープさん ●ヨークタウン内ダイユーエイト登米中田店

宮城県登米市中田町石森字駒牽400 TEL 0220-23-9433

営業時間 あさ8時～よる8時まで

確かな技術でまかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

快適生活 創造企業

災害時安定供給施設

■アクアショップ KUMANEN ■BFC クマネン 【関連企業】
■コインランドリー 清潔空間 ■なごみの家きらり ■熊谷オウイング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田 120 番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 5月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
4/30(祝)～5(祝)	<p>●第15回記念 登米市民ふれあい美術展～ 【時間】午前9時30分～午後5時 ※最終日は午後3時まで 【会場】小ホール 【入場料】無料 【ミニコンサート】 5日:午後2時 出演:八田江里子(ピアノ) ポスコロ大野(パーカッション)</p>	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
1(祝)～31(金)	<p>●石森絵手紙教室作品展 ばあっと2 【時間】午前10時～午後5時 ※最終日は正午まで 【会場】レストラン 【入場料】無料</p>	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
5(祝)	<p>●佐沼高校吹奏楽部 第54回定期演奏会 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料</p>	佐沼高校 ☎ 0220(22)2022
19(日)	<p>●プロレスリングDEWA 登米大会 【開演】午後1時30分 【会場】小ホール 【入場料】無料</p>	プロレスリングDEWA ☎ 023(631)0894
26(日)	<p>●第8回宮野浅太郎杯 全国大会チャリティーショー 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】指定2500円、自由2000円</p>	同実行委員会 ☎ 090(3983)3753
30(金)～6/2(日)	<p>●高校生絵画展IN 登米市2019 【時間】午前9時30分～午後6時 ※最終日は午後3時まで 【会場】小ホール 【入場料】無料</p>	企画部市民協働課 (地域振興係) ☎ 0220(22)2173

※5月の休館日は、6日、13日、20日、27日です
 ※入場料は前売り価格です

移住支援金制度 登録法人を募集

首都圏から、移住者が県の登録法人に就業した場合、移住者に対して、最大100万円を支給する制度が始まります。県の登録法人になるには事前に登録が必要です。

【対象】製造業、農林水産業、宿泊業、情報通信業、医療・福祉などの法人

【申請受付期限】5月17日(金)
 ※申請先は本社・本店のある市町村です。申請方法など詳しくは左記ホームページをご覧ください
<https://miyagi-jinguid.jp/>

【問い合わせ】
 ▼県経済商工観光部雇用対策課
 ☎ 022(211)2772

▼産業経済部産業連携推進課(産業連携係)
 ☎ 0220(34)2549

地域協働のまちづくり 事業をサポート

地域の特色を生かした个性的なまちづくりや、さまざまな地域課題を効果的に解決するための事業を支援。平成32年度の実施事業が対象です。

【資格要件】①～④全ての要件に該当する団体 ①市内に活

【開講期間】5月下旬から月1、2回程度(計8回予定) / 平日昼間に開講予定

【講座内容】市内で開催される環境教育活動の現場に同行し、活動の様子などを学びます

【受講料】無料

【定員】10人程度

【申込要件】市内在住、または市内で勤務する20歳以上の人

【申込方法】電話、ファクシミリ、電子メールで市民生活部環境課へ申し込みください

【申込期限】5月17日(金)
 【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係)
 ☎ 0220(58)5553

動の拠点がある②構成員が5人以上③運営や組織に関する規約または会則を定めている

④政治活動、宗教活動または営利を目的としない

【事業期間】単年度。ただし、事業の性質上、実施期間が複数年度にわたる場合は、2年を限度とします

【補助金の額】補助率2分の1以内で、50万円を上限に補助。ただし、事業期間が複数年度にわたる場合、2年目は3分の1以内

【申込期限】9月30日(月)

【対象経費の例】

項目	対象経費	対象外経費
人件費	講師の謝金	会員や参加者の謝金、会費
旅費	講師の活動に要する交通費	会員の市内外への交通費
需用費	事務用品費、チラシ作成費、食料費(会議の茶菓代、講師への弁当代)	懇親を目的とした食事代、光熱水費(団体事務所などに係るもの)
役員費	郵便料、切手代、機材の保険料	会員所有の携帯電話料金
委託料	団体が実施困難な事務の委託料	事業の全部を委託した場合の委託料

【申し込み・問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)
 ☎ 0220(22)2173

※申し込みの際は、事前にこ

☎ 0220(58)3345
 ✉ kankyo@city.tomenyagi.jp

農業6次産業化実践科 受講者を募集

地域の特産物を活かした商品の開発・流通・販売までを展開できる人材を育成し、関連分野への就職を実現させるため、職業訓練を実施します。

【訓練期間】5月31日(金)～9月28日(土)

【場所】飛鳥未来きずな高等学校 校舎本校

【受講料】無料(教科書代などは自己負担)

ねんきんだより

国民年金保険料納付は納期限までに

平成31年4月分から平成32年3月分までの国民年金保険料は、月額1万6410円です。保険料は、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納められます。納付書払い以外の納付方法は、クレジットカードやインターネットなどを利用したもの、便利でお得な口座振替などがあります。日本年金機構では、納付期限までに保険料が納付されない場合、電話、文書、訪問による早期納付の案内をしています。未納のまま放置した場合、強制徴収の手続きにより督促します。指定期限までに

相談ください

大事な命を救うため 普通救命講習会を開催

【日時】5月19日(日)午前9時～正午

【場所】消防防災センター

【定員】30人(先着順)

【申込期限】5月13日(月)
 【申込方法】消防署、各出張所

お知らせ

東日本大震災被災者の水道加入金などを減免

東日本大震災被災者の水道加入金、各種手数料の減免措置を、平成31年度も継続します。【減免する手数料など】①水道

【募集期限】5月9日(木)

【定員】8人

【問い合わせ】三幸学園エクステンションセンター(担当 佐藤・高橋)
 ☎ 0220(55)3776

環境教育リーダー 育成講座を開講

環境教育および環境保全活動に関する専門知識や技術などを学習します。

へ電話で申し込みください

※再講習者も募集しています

【問い合わせ】消防署救急係
 ☎ 0220(22)2119

加入金②給水装置工事設計審査手数料③給水装置工事しゅん工検査手数料④道路路占用申請事務手数料
 【対象者】東日本大震災で居住する住宅が、り災証明書により全壊、大規模半壊と判断され、市内に自らが居住する住宅を新築・改造する人
 【減免割合】全額
 【必要書類】給水装置工事申込書、り災証明書(写し)
 【申請期限】平成32年3月31日(火)
 【申し込み・問い合わせ】水道事業所水道管理課(業務係)
 ☎ 0220(52)3311

人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい	株式会社 清建 環境プロバイダ 本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658	仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980 南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp
	有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1	有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字下田中53番地8 リースキン

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

株式会社 刺蒸くまがい 中田中学校通り 0220-34-5002	…働く会社… 法事・宴会 広告 葬儀からご法要までの一環システム 登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます) 24時間受付 0220-34-4856(代表)
株式会社 誠香社	

5月の納税

固定資産税・・・1期
 国民健康保険税・・・1期
 介護保険料・・・1期
 水利地益税・・・1期

忘れずに納めましょう
 納税は便利な口座振替で

納期限／5月31日(金)

登米市の人口・世帯数

(平成31年3月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女	計(前月比)	
迫	7,606	9,960	10,504	20,464	(▲70)
登米	1,798	2,293	2,509	4,802	(▲6)
東和	2,357	3,094	3,212	6,306	(▲36)
中田	5,133	7,632	7,973	15,605	(▲40)
豊里	2,147	3,235	3,298	6,533	(▲20)
米山	2,822	4,453	4,605	9,058	(6)
石越	1,577	2,409	2,418	4,827	(▲42)
南方	2,703	4,204	4,386	8,590	(▲29)
津山	1,156	1,550	1,682	3,232	(▲17)
合計	27,299	38,830	40,587	79,417	(▲254)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(平成31年3月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H31	H30	増減数
人身事故発生件数	37件	36件	1件
死者数	1人	0人	1人
負傷者数	46人	45人	1人
物損事故発生件数	345件	495件	▲150件

※平成31年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

ゴールデンウィークの時期は、渋滞や長距離運転が要因の漫然・過労運転などによる交通事故の増加が予想されます。運転の際は、「急がず」「慌てず」「時間にゆとりを持って」、運転に集中しましょう。

市内放射線の測定結果

測定日:平成31年4月1日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.05	曇り
消防署北出張所(石越)	0.03	曇り
消防署東出張所(東和)	0.04	曇り
消防署津山出張所	0.04	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.04	曇り
消防署西出張所(南方)	0.04	曇り

空間放射線量の測定結果は市公式ホームページに掲載およびメール配信しています。

震災被害者への資金貸付

受付期限を1年延長

東日本大震災で、住居の被害などを受けた世帯の再建資金を貸し付ける「災害援護資金貸付金」の受付期限が1年延長されました。

【受付期限】平成32年3月31日(火)

【貸付条件】償還期間13年(据置期間6年)年賦・半年賦で償還

市民意向調査にご協力を

まぢづくり

市は、平成27年9月に第二次登米市総合計画を策定し、や地域では、登米市の将来を担う子どもたちの見本となるよう交通ルールを守りましょう。

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)
 ☎0220(58)2118

利率・貸付限度額

【利率】年1.5%(連帯保証人がいる場合は無利子)

【貸付限度額】被害程度に応じて、最高350万円

【貸付要件】世帯の総所得による所得制限があります。詳しくは、市公式ホームページで確認するか、問い合わせください

【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(福祉総務係)
 ☎0220(58)5552

調査期間

【調査期間】4月26日(金)～5月17日(金)

【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政策係)
 ☎0220(22)2147

事業主の皆さんへ

求人申し込みのお願い

平成32年3月の新規中学校、高校卒業予定者を対象とする求人申し込みが、6月1日から始まります。

新たな人材確保に向けて、検討いただき、求人申し込みされるようお願いいたします。

【問い合わせ】ハローワークはさま(学卒担当)

農作業安全の実践・確認項目

1 機械や道具の点検・整備
 2 休憩が取れる無理のない作業
 3 農道を走行する際の路肩状況の確認
 4 農作業や機械作業に適した服装
 5 慎重なほ場への出入り、慎重なあせ越え
 6 点検・調整時は、必ずエンジン停止
 7 道路走行に備え、反射板の装着

子どもについての悩み

子どもに関する悩みに経験豊かなカウンセラーが相談に

【相談専用電話】
 ☎0220(22)8125

子どもについての悩み

子どもに関する悩みに経験豊かなカウンセラーが相談に

【相談専用電話】
 ☎0220(22)8125

子どもについての悩み

子どもに関する悩みに経験豊かなカウンセラーが相談に

【相談専用電話】
 ☎0220(22)8125

子どもについての悩み

子どもに関する悩みに経験豊かなカウンセラーが相談に

【相談専用電話】
 ☎0220(22)8125

子どもについての悩み

子どもに関する悩みに経験豊かなカウンセラーが相談に

【相談専用電話】
 ☎0220(22)8125

子どもについての悩み

子どもに関する悩みに経験豊かなカウンセラーが相談に

【相談専用電話】
 ☎0220(22)8125

カウンセラーによる教育相談日

相談日	相談時間
5月7日(火)	①10:00～10:50
5月14日(火)	②11:00～11:50
5月28日(火)	③13:00～13:50
6月4日(火)	④14:00～14:50
6月11日(火)	⑤15:00～15:50
6月18日(火)	⑥16:00～16:50
6月25日(火)	

【相談場所】市視聴覚センター
 【相談方法】面接相談、電話相談とも要電話予約
 【予約時間】月～金曜(祝日を除く)午前8時30分～午後5時

生活や仕事などの悩み

生活や仕事などの悩みや

【予約・問い合わせ】市教育研究所
 ☎0220(22)8029

生活や仕事などの悩み

生活や仕事などの悩みや

【予約・問い合わせ】市教育研究所
 ☎0220(22)8029

生活や仕事などの悩み

生活や仕事などの悩みや

【予約・問い合わせ】市教育研究所
 ☎0220(22)8029

生活や仕事などの悩み

生活や仕事などの悩みや

【予約・問い合わせ】市教育研究所
 ☎0220(22)8029

生活や仕事などの悩み

生活や仕事などの悩みや

【予約・問い合わせ】市教育研究所
 ☎0220(22)8029

出張相談日程・場所

開催日	時間	場所
5/14(火)	10:00～16:00	登米公民館
5/28(火)	10:00～16:00	米川公民館
6/11(火)	10:00～16:00	石森ふれあいセンター
6/25(火)	10:00～16:00	豊里公民館

一人を抱え込まないで

多重債務者無料法律相談

【日時】5月24日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】開発育子(司法書士)

【相談専用電話】
 ☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
 ☎0220(34)2734

一人を抱え込まないで

多重債務者無料法律相談

【日時】5月24日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】開発育子(司法書士)

【相談専用電話】
 ☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
 ☎0220(34)2734

一人を抱え込まないで

多重債務者無料法律相談

【日時】5月24日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】開発育子(司法書士)

【相談専用電話】
 ☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
 ☎0220(34)2734

一人を抱え込まないで

多重債務者無料法律相談

【日時】5月24日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】開発育子(司法書士)

【相談専用電話】
 ☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
 ☎0220(34)2734

一人を抱え込まないで

多重債務者無料法律相談

【日時】5月24日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】開発育子(司法書士)

【相談専用電話】
 ☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
 ☎0220(34)2734

Jアラートの緊急情報を即時に情報伝達試験を実施

全国瞬時警報システム(Jアラート＝国から配信される情報伝達システム)から送られてくる武力攻撃などの緊急情報を、防災行政無線などで確実に皆さんに伝えるため、情報伝達試験を実施します。

【日時】5月15日(水)午前11時ごろ

【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係)
 ☎0220(22)2130

情報伝達手段	放送内容(訓練)
1 防災行政無線	市内に設置している全ての防災行政無線から、一斉に次のように放送します。 【放送内容】(上りチャイム音)→「これは、Jアラートのテストです」×3回→「こちらは、防災登米市広報です」→(下りチャイム音)
2 コミュニティFM放送※	コミュニティFM「はつとエフエム」で、次の内容を放送します。 【放送内容】(無音1秒程度)→「こちらは、登米市役所です。緊急放送をお知らせします。発表日時2019年5月15日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」
3 登米市メール配信サービス	登米市メール配信サービスに登録している人のパソコンや携帯電話に、次の内容のメールを送信します。 【送信内容】件名:即時音声合成メッセージ発表/本文:「発表日時2019年5月15日〇時〇分〇秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」

※緊急告知ラジオでも、同様の内容が放送されます。緊急情報のテストのため、音量調整つまみの設定にかかわらず最大音量で放送されます(放送中は音量調整ができません)

ときめき人

Tokimeki bito



市消防団初の 学生団員 大好きなこのまちで みんなの命を守りたい

登米町・渋江

菊地 栞さん

きくち しおり
1999年生まれ 血液型/B型

平成30年度市総合防災訓練で、包帯の巻き方などを学ぶ応急救護訓練の補助員を務める菊地さん。消防団に興味のある人は、消防本部警防課(消防関係)まで。☎0220(22)1901



「高校を卒業して、友達が進学や就職で市外へ移りました。その友達が戻って来たいと思ってもらえるように、登米市をもっと住みやすいまちにするために、自分に何かできることがしたいと思い入団しました」と入団の動機を話す。

高校を卒業した昨年3月、消防団員の兄に誘われたのがきっかけで、市消防団登米支団に同年4月に入団した。現在、石巻市の看護専門学校に通う菊地さんは、市消防団では初となる学生団員。現在は、防災訓練の補助員や街頭パトロール、どんと祭の活動などに参加している。「周りの人たちからは、大変じゃないかと心配されますが、自分のできる範囲で活動できるので、大変だと感じたことは一度もありません。女性分団にも所属しているの

で、いろいろな人と知り合うことができて楽しいです。もっと若い団員が増えるようにしていきたいですね」と笑顔で話す。

看護師だった母に憧れ、命を守る仕事がしたいと看護師の道を志した。「対応力と実践力のある看護師を目指しています。消防団の活動は、看護学校では学ぶことができない現場での救護活動など、学ぶべきことがたくさんあります。学校で学んだことと一緒に、自分の技術として習得していきたいです」と目標を語る。

「生まれ育った登米市のことが大好きなので、みんなの命を守れるようになりたいです」。看護師になるための勉強をしながら、まちの安全を願い、今日も消防団活動に励んでいる。

編集後記

▼今号の特集のテーマは子育て。取材をしていく中で、悩みを抱えていない親はいないとあらためて気付かされました。取材を通し、実際に現場で見て、聞いて、感じたものを、できる限り皆さんに伝えられるよう、意味のある広報紙を目指して、作っていききたいと思えます。(三浦)

▼息子が小学校を卒業し、中学生に。これからは、心も体も日に日に大人へと成長していく時期です。子どもの成長はうれしいですが、大人になっていくことに少し寂しさも感じます。私は広報2年生。これまで以上に市の「ひと」「もの」「こと」を魅力的に伝えられるように頑張ります。(高橋)

▼今号は100歳を迎えた3人を取材しました。皆さんお元気で、自分のことはほぼ何でもできるそうです。取材をしていると、家族から愛されていること、また、家族に対する感謝が伝わってきて、この環境こそ長寿の秘訣なのかもしれないと感じました。(小野寺)

元号の読み替えについて

改元期日の本年5月1日以後の表記は、新元号に読み替えていただきますようお願いいたします。



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>

